





た、本発明は、抽出した符号化パラメータに対して複雑な演算処理を施す必要もなく、単純な演算処理と括弧演算処理で出力データの生成を行うことができるため、低コストで大幅に削減できるような構成である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施形態の構成を示すブロック図である。

【図2】 図1の符号化パラメータ抽出部の具体例を示すブロック図である。

【図3】 カット点検出に用いられるフレームの時間的及び空間的索引の図解である。

【図4】 可変長符号化されたDCT係数に関する符号化パラメータの図解である。

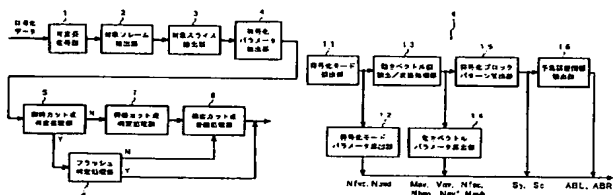
【図5】 瞬時カット面画の判定方法である。

【図6】 図1の特性カット点検出処理部の具体例を示すブロック図である。

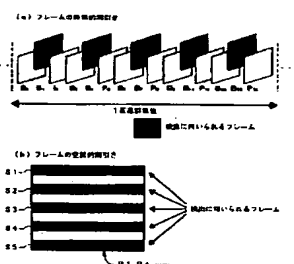
【図7】 図1の特性カット点検出処理部の動作を示すフローチャートである。

オンローチャートである。  
 【448】 ツイン面図の説明である。  
 【449】 本局時の動作の概念を示すフローチャートである。  
 【符号の説明】  
 1…対象機検知部、2…対象フレーム抽出部、3…対象スライス抽出部、4…符号化パラメータ抽出部、5…時刻データ点特定処理部、6…方向パラメータ特定処理部、7…時刻データ点特定処理部、8…機軸方向データ登録処理部、9…符号化モード判定抽出部、10…符号化モードパラメータ算出部、11…動きベクトル算出部/変換処理部、12…動きベクトルパラメータ算出部、13…符号化パラメータ抽出部、14…動きベクトルパラメータ算出部、15…符号化パラメータ抽出部、16…符号化情報抽出部、20…パラメータ決定部、21…ディジタル判定処理部、22…ローのワイヤ判定処理部、23…ローのワイヤ判定処理部、31…符号の符号化プロダクト

【 54 1 】



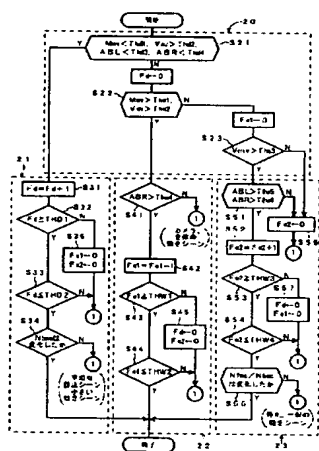
【例 3】



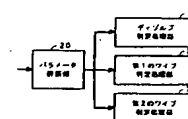
: 4 ]

$BR_1 = |ac_1| + |ac_{11}| + |ac_{12}| + |ac_{1n}|$   
 $BR_i = \sum_{j=1}^n (r_{in,j} + 1) = 20$

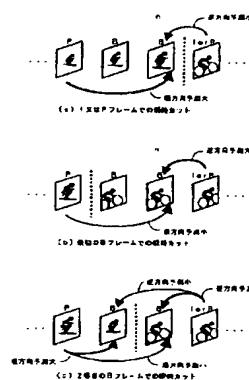
【例7】



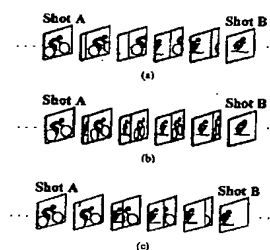
【 陸 六 】



:145:



【圖 8】



【149】

